

## 児童養護施設 愛童園

開園以来56年が経過する中、子どもと子育てを取り巻く環境はもちろん、児童養護施設の置かれた状況も大きく変化してきた。この間に愛童園から社会に巣立った、あるいは家庭等に復帰した児童は318名を数える。

近年は、虐待を入所理由とする児童の入所が増えているだけでなく、発達障害や知的障害などのある児童の入所も目立つ。そのため、入所児童に対し細やかな心理的なサポート等が求められる場面が多くなってきており、職員には高い専門性と入所児童に対するきめ細かな配慮が、これまで以上に求められている。

愛童園は、児童の最善の利益のために、関係機関や地域社会と連携を図りながら、入所処遇の改善に日々取り組み、児童の心身の健やかな成長発達を促し、自立を支援していく。

### ◎平成29年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

#### (1) 児童の権利擁護

- ① 職員は施設内外の研修に参加するなど人権感覚を磨き、養育者としての倫理観や責任感を持ち、児童一人ひとりが安心して安全に生活できるよう生活環境の整備や養育に努めた。
- ② 権利侵害により児童の心身の健康的な発達が妨げられないよう、定期的児童集会や意見箱の設置等、児童の最善の利益を目指した養育・支援に取り組んだ。

#### (2) 児童の養育・支援

- ① 在園児童の60.7%が心理療法を必要としており、児童相談所や専門機関とも連携し、職員間で情報を共有しながら児童の心理的ケアに取り組んだ。
- ② 学習ボランティアの協力も得て、学習環境の整備を行い児童の希望する進学校を目指した学習支援に取り組んだ。

#### ◆被虐待児個別対応相談員の活動状況

- 個別対応児童数 7名
- 個別対応年間実施日数 29日
- 1日当たり平均実施時間 45分
- 心理担当職員との連携及び職員会での連絡、情報交換

#### ◆平成30年3月に中学校を卒業した児童の進路状況

児童	区分	性別	進学	就職	進路等の状況
1	中学	男	○		太平洋学園高校
2	〃	女	○		県立山田高校
3	〃	女	○		県立山田養護学校高等部
4	高校	男	○		県立林業大学校

### (3) 家庭支援の強化

- ① 家族の相談に応じるとともに、児童相談所や家族の居住する市町村・関係機関と連携し、児童と家族の関係調整を行った。
- ② 家庭引き取りに向けた児童と家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを行い、地域支援者会議を通して地域での受け皿づくりに努めた。
- ③ 児童相談所や市町村担当職員とのサポートケアを3回実施した。

### (4) 事故防止と安全対策

- ① 事故発生対応マニュアル、食中毒・感染症マニュアルに基づいて対応し、インフルエンザ等の流行期には予防措置を徹底した。
- ② 防災対策マニュアルに基づき避難、地震、防災、防火訓練を定期的実施した。

### (5) 家庭的養護の推進

- ① 先進施設の視察や研修会へ参加する事により、小規模化への準備を進めている。

### (6) 関係機関連携と地域支援

- ① 要保護児童対策地域協議会に参加し、気になる児童や家庭の情報を共有して対策を協議し、実践に努めた。
- ② 児童相談所との連携については、ケース会、面会、通所と児童の支援状況により家庭も含めての情報共有に努めた。
- ③ 児童と夜須地域との交流については、町民運動会や神社の伝統行事、盆踊り等に参加するなどの交流を行った。

#### ◆一時保護委託の状況（受託先：児童相談所）

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
平成29年度	0名	0名	0日
平成28年度	5名	5名	89日
平成27年度	3名	3名	32日

#### ◆子育て支援短期利用事業（受託先：香南市、安芸市）

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
平成29年度	1名	6名	8日
平成28年度	2名	3名	14日
平成27年度	2名	2名	10日

## (7) 職員の資質と施設運営の向上

- ① 児童の養育全般、虐待、発達障害等、専門分野別研修など県内はもとより全国、中四国で実施される研修に参加し、職員のスキルアップを図った。
- ② 外部講師による園内研修として、芸西病院の理学療法士等による個別のケース検討を通じた「精神医学分野の知識習得に関する研修」を行うとともに、弁護士による「子どもの権利と人権について」をテーマとした人権研修を行った。
- ③ 内部講師による園内研修として、CSP（コンセンサス・アレンティング）研修や救急救命講習、権利擁護に関する研修を行った。
- ④ 平成29年度は、第三者評価受審の間の年度であり、第三者評価基準の評価項目に沿った自己評価を行い、児童処遇や施設運営等の見直しにつなげた。

### ◆各種研修会等への参加状況

- 全養協関係 3回／3名    ○中四国養協関係 2回／2名  
 ○県養協関係 5回／13名    ○各種専門研修 13回／15名  
 （計23回・延33名 ⇒ 1研修会当たりの受講人数／1.4名）

その他、施設実習終了後「児童の処遇のあり方」について実習生反省会を兼ねた研修会を5・9・2月の年3回全員参加で実施した。

### ◆年度別児童・職員数

各年度3月31日現在

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
定員（暫定）	30名 (27名)	30名 (29名)	30名 (28名)	30名	30名
在籍児童数	24名	27名	24名	23名	22名
職員数	16名	17名	16名	17名	19名

※職員数：臨時・パートを含む

### ◆平成29年度 月別児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	23
入所	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1

◆学年別児童数

平成30年3月31日現在

	就学前		小学校						中学校			高校			その他	計
	3歳未満	3歳以上	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年		
男	1	1	1	0	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	12
女	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	10
計	1	5	2	0	0	2	0	2	1	1	3	1	2	1	1	22

◆入所主訴理由別児童数

平成30年3月31日現在

入所理由	件数	構成比	入所理由	件数	構成比
父母の行方不明	0	0.0%	虐待	10	45.5%
父母の離婚	0	0.0%	経済的理由	0	0.0%
父母の拘禁	0	0.0%	精神疾患・入院	0	0.0%
父母の傷病・入院	1	4.5%	措置変更	5	22.7%
父母の養育困難	6	27.3%	その他	0	0.0%
			合計	22	100.0%

◆平成29年度主要な年間行事

- 4月 新年度ホーム編成、小中学校家庭訪問
- 5月 GW買物ツアー(ｲﾝ)、施設実習(龍馬学園)、第1回中央児相サポートケア
- 6月 第1回要保護児童対策地域協議会地域支援者会議
- 7月 七夕祭り、第2回中央児相サポートケア
- 8月 手結盆踊り参加、安田川キャンプ
- 9月 施設実習(高知学園短大)、小・中学校合同運動会、高知農業高校体育祭
- 10月 第2回要保護児童対策地域協議会地域支援者会議、保幼小中合同避難訓練  
保育・幼稚園合同運動会、夜須町民運動会、防災キャンプ in 夜須Y S P  
中学校文化祭
- 11月 夜須八幡棒打ち、百手祭
- 12月 クリスマス会、ワールドメイト、グリーンコール  
競輪選手会もちつき、開園記念日会食会
- 30/1月 お正月祝い、初詣、買物ツアー(ｲﾝ)、
- 2月 節分豆まき、施設実習(高知福祉専門学校)  
第3回要保護児童対策地域協議会地域支援者会議
- 3月 施設実習(高知福祉専門学校)、第3回中央児相サポートケア